

議案審議

◆給食センター改修事業 2億3,284万6千円

- ・・・学校給食センター（花巻地区7センター）のエアコン設置および石鳥谷学校給食センター改修基本設計をしようとするもの。

質疑

●質問・・・石鳥谷学校給食センターの改修の基本設計について、施設全体の改修をする必要があるとのことだが詳細について伺う。

●答弁・・・今年度当初の予定では空調の更新と照明のLED化の基本設計の予算措置をしていた。しかし、石鳥谷学校給食センターは建築から既に21年が経過しており施設の老朽化に伴い配管や給湯器等予定していた部分以外にも劣化が見られた。また、施設の天井が高く空調の更新だけでは効果に懸念があり全体的な長寿命化を検討する必要があると考え全体改修の基本設計を行うこととなった。当初予定していたものも含め全体を検証したうえで整備していきたい。



石鳥谷学校給食センター

◆その他の質疑

- ・・・6月定例会補正予算で新花巻図書館建設候補地に係るプロポーザル方式による意見集約運営委託料992万2千円が追加補正されて賛成・反対討論のうえで可決されたが、結果的に契約候補者は選定されず、花巻市と提携している慶應義塾大学SFC研究所にファシリテーターの紹介を依頼した。

質疑

●質問・・・プロポーザル方式による業務委託が頓挫し、事業が組み換わったことから、この予算も補正で組み換えするべきではないか。

●答弁・・・手法を変えて進めることになるが、当初目指したものに変更はないので組み換えは必要ないと考えている。

●質問・・・プロポーザル方式で意見集約を行う業者を選定するということは、新花巻図書館整備基本計画試案検討会議や議員説明会で説明し、6月定例会ではその点も含め賛成・反対の討論があり最終的に議会が議決した。自分は、意見集約には反対しないが業者に丸投げする形で委託するのには反対であるという発言をした。議決内容から大きく変更になるのであれば議員説明会で説明すべきではないか。

●答弁・・・専門家にファシリテーションしていただき、市民間で対話型の話し合いをしていただきたいという目的に変更はない。議員説明会を開くべきだったという意見についてはしっかり受け止めたい。

【表紙写真について】

タイトル 「めざせ！ぼくたちわたしたちのきんめだる」（湯本学園湯本保育園 親子運動会）
メッセージ 運動会日和の青空のもと、お家の方々に見守られ少しの緊張感と期待感で始まるオープニングは自分たちで役割を決め、かっこよく披露することができました。0歳児から5歳児それぞれに笑顔いっぱい頑張りました。

9月定例会 提出された36議案を可決

令和6年第3回花巻市議会定例会は9月6日開会、10月1日まで26日間の日程で開かれました。9月9日、11日、12日には一般質問に14人が登壇し、市政課題について質問しました。

9月18日には議案審議が行われ、花巻市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例など提出された12議案を原案のとおり可決、報告7件を承認しました。

また、議案審議では、議案の内容に誤りがあったことを理由に、令和6年度花巻市一般会計補正予算（第5号）など5件を撤回し、修正のうえ改めて提出された同補正予算など5件を原案のとおり可決しました。

最終日の10月1日には、花南産業団地B工区造成工事の請負契約の変更に関し議決を求めることや人権擁護委員の候補者の推薦に関し意見を求めることについてなど4議案と報告1件が追加提案され原案のとおり可決、承認しました。

また、9月24日から26日には決算特別委員会が開かれ、10月1日の本会議で全議案を可決しました（審査内容は12～14ページに掲載しています）。

主な可決議案や質疑は次のとおりです。

可決 令和6年度一般会計補正予算(第5号)



審議の様子はこちら

21億3,892万円を追加し、歳入歳出それぞれ総額587億1,545万2千円とするものです。
※市議会が注目した主な補正予算は次のとおりです。

◆学童クラブ施設整備事業費 2,460万円

- ・・・令和7年4月に開設が予定されている学童クラブ2施設に対し、開設準備経費を補助するもの。

質疑

●質問・・・来年4月に2カ所の開設ということだが、それぞれの学区と募集児童数、また現在の待機児童数を伺う。

●答弁・・・新設地域は花巻小学区と桜台小学区の2カ所、それぞれ40名を予定している。花巻小学区の待機児童数は申請したが入れずに待機している児童が4名、申請後に取り下げた児童は17名。面積要件で取り扱われなかった児童が11名、そして長期休暇だけの利用者8名を加えたうえで40名という見込みとした。桜台小学区については取り下げた方が21名、定員超過気味の桜台学童クラブから10名の調整、そして長期休暇利用者9名合わせて40名の見込みである。

●質問・・・児童数が減少していることから待機児童数や取り下げ要因を鑑みて、需要より供給が過多のような気がするが事業として成り立つのか。

●答弁・・・児童数は減少しているが学童クラブ利用者数は増加傾向にある。市内全体では全児童数に対して平成27年19.3%だった利用者が、令和6年度は32.3%と毎年平均で1.4ポイントずつ増加している。今回新たに80名入所を整備するにあたり供給過多とは捉えていない。